

※実績値は単位未満切り捨て。前年比等の百分率は四捨五入。

2016年11月14日
ソニー生命保険株式会社

生命保険会社 2016年9月業績報告 共通質問

①契約の状況等

		2016年9月期		16年3月期	15年9月期	
			16/3期比			15/9期比
新契約年換算保険料	(百万円)	38,759	—	△ 10.0%	85,018	43,053
うち第三分野	(百万円)	8,101	—	9.7%	15,717	7,383
保有契約年換算保険料	(百万円)	799,681	2.4%	5.3%	781,315	759,136
うち第三分野	(百万円)	184,055	2.4%	4.5%	179,707	176,122
保険料等収入	(百万円)	477,426	—	△ 6.2%	1,028,048	508,798
うち個人保険分野	(百万円)	473,747	—	△ 6.3%	1,021,057	505,844
うち団体保険分野	(百万円)	2,838	—	13.5%	5,350	2,500
新契約高	(百万円)	2,449,029	—	△ 6.3%	5,151,395	2,615,026
保有契約高	(百万円)	44,114,486	2.2%	4.7%	43,149,831	42,143,015
解約・失効高	(百万円)	922,587	—	△ 3.0%	1,931,440	951,525
解約・失効率 (契約高ベース)	(%)	2.14	—	(0.19ポイント低下)	4.72	2.33
解約・失効年換算保険料	(百万円)	—	—	—	—	—
解約・失効率 (年換算保険料建ベース)	(%)	—	—	—	—	—

※保険料等収入以外は個人保険＋個人年金保険 ※3月期比、9月期比は増減率

※解約・失効は、復活契約を失効と相殺せずに算出

※保険料等収入は損益計算書ベース

※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険＋個人年金、団体保険分野は団体保険＋団体年金の合計保険料

※年換算保険料の対象は個人保険と個人年金。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額等(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額等)

②資産の状況等

		2016年9月末		16年3月末	15年9月末	
			16/3末比			15/9末比
総資産	(百万円)	8,365,201	4.1%	7.8%	8,035,408	7,758,892
実質資産負債差額(A)	(億円)	33,904	5.2%	83.2%	32,241	18,508
実質資産負債差額(A)／一般勘定資産	(%)	45.2	(0.3ポイント上昇)	(18.6ポイント上昇)	44.9	26.6
実質資産負債差額(B)	(億円)	11,757	1.7%	10.0%	11,566	10,685
実質資産負債差額(B)／一般勘定資産	(%)	15.7	(0.4ポイント低下)	(0.4ポイント上昇)	16.1	15.3
ソルベンシー・マージン比率	(%)	2,774.4	(51.6ポイント上昇)	(116.7ポイント上昇)	2,722.8	2,657.7

※当社は長期保険契約から生じる負債の特性に鑑み、資産負債とも時価評価し統合的なALM管理を行っています。その結果、国債を中心とした長期債券に投資し、十分な流動性資産を確保した上で、その多くを満期保有目的の債券に区分しています。

「実質資産負債差額」は、監督官庁が、経営の健全性の観点から業務停止命令等を発出する際の基準としているものですが、この実質資産負債差額(表記の「実質資産負債差額(A)」)は、資産については満期保有目的の債券を含め時価評価する一方で、負債は時価評価していないため、ALM管理の成果が適切に反映されません。監督官庁は、適切なALM管理等を行っている場合には、満期保有目的の債券および責任準備金対応債券の含み損益を除外してこれを評価することを明らかにしており、当社は、当該基準に従って計算した実質資産負債差額(表記の「実質資産負債差額(B)」)も記載しています。

※3月末比、9月末比は増減率(実質資産負債差額/一般勘定資産およびソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

③基礎利益・順ざや

		2016年9月期		16年3月期	15年9月期	
			16/3期比			15/9期比
基礎利益	(百万円)	30,687	—	112.2%	43,019	14,460

※9月期比は増減率

	2017年3月末の予想	2016年3月末の実額	
順ざや額(負債の場合は逆ざや額)	(億円)	減少	153

④準備金

		2016年9月末		16年3月末	15年9月末	
			16/3末比			15/9末比
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	7,502,012	240,646	560,370	7,261,366	6,941,642
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	6,660,493	237,744	505,269	6,422,748	6,155,223
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	841,519	2,901	55,100	838,617	786,418
価格変動準備金	(百万円)	45,040	780	1,516	44,260	43,523
危険準備金	(百万円)	78,637	3,471	6,751	75,166	71,885
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	23,437	471	845	22,966	22,592
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	19,448	367	838	19,080	18,609
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	29,101	2,556	4,903	26,544	24,197
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	6,650	76	164	6,574	6,486
危険準備積立金	(百万円)	—	—	—	—	—
価格変動積立金	(百万円)	—	—	—	—	—

※3月末比、9月末比は増減率

⑤含み損益

		2016年9月末			16年3月末	15年9月末
			16/3末比	15/9末比		
有価証券	(百万円)	2,412,246	141,081	1,472,993	2,271,165	939,253
うち国内株式	(百万円)	10,956	△ 1,082	△ 1,360	12,039	12,316
うち国内債券	(百万円)	2,388,719	143,881	1,473,434	2,244,838	915,285
うち外国証券	(百万円)	12,436	△ 1,709	900	14,146	11,535
不動産	(百万円)	56,115	925	6,729	55,190	49,386

※有価証券の含み損益は、売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるものについて、満期保有目的、責任準備金対応債券の差損益およびその他有価証券評価差額の合計値を記載。また、有価証券合計欄については、金銭の信託内の有価証券を含む。

※不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価後の水準を記載

※3月末比、9月末比は増減実額

⑥運用実績と計画

		上期実績	下期計画
国内株式	(百万円)	26,060	横ばい
国内債券	(百万円)	9,068,698	増加
外国株式等	(百万円)	13,883	増加
外国債券	(百万円)	176,567	増加
不動産	(百万円)	167,960	横ばい

⑦資産の損益がゼロになる水準

		2016年9月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	8,182
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	657
国内債券	(%)	1.7
外国証券	(円)	88

※株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

※国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第1位まで算出

※外国証券はドル円換算にて算出

⑧2017年3月期の業績見通し

		2017年3月期の予想
保険料等収入	(百万円)	減少
基礎利益	(百万円)	増加
保有契約高	(百万円)	増加
保有契約年換算保険料	(百万円)	増加

⑨銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出(総額)

		2016年9月末
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	該当なし

※銀行からの拠出の劣後ローン等は、劣後ローン及び劣後債

※銀行からの拠出の株式は9月末の時価

ii 銀行への拠出(総額)

		2016年9月末
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	該当なし

※基金拠出者以外の金額も含む

※銀行への拠出の保有している株式には、優先株を含む(各行・グループの海外現法への出資は除く)

※銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券

⑩社員数

		2016年9月末			16年3月末	15年9月末
			16/3末比	15/9末比		
営業社員	(人)	5,358	3.2%	8.3%	5,193	4,948
内勤社員	(人)	2,233	6.5%	10.1%	2,096	2,028

※3月末比、9月末比は増減率

①銀行窓販の状況

			2016年9月期		16年3月期	15年9月期
				15/9期比		
変額年金保険	新契約件数	(件)	1	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	0	—	—	—
定額年金保険	新契約件数	(件)	7	△ 56.3%	34	16
	金額(収入保険料)	(百万円)	4	56.1%	4	2

※金額の欄には、一時払契約は一時払保険料を、その他は1年分の保険料に相当する金額を記載
 ※9月期比は増減率

			2016年9月期		16年3月期	15年9月期
				15/9期比		
一時払終身	新契約件数	(件)	6	—	84	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	34	—	405	—
一時払養老	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

※金額の欄には、一時払契約は一時払保険料を、その他は1年分の保険料に相当する金額を記載
 ※9月期比は増減率

			2016年9月期		16年3月期	15年9月期
				15/9期比		
一時払商品	新契約件数	(件)	—	—	18	16
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	74	69
平準払商品	新契約件数	(件)	267	14.6%	510	233
	金額(収入保険料)	(百万円)	76	0.3%	145	75

※金額の欄には、一時払契約は一時払保険料を、その他は1年分の保険料に相当する金額を記載
 ※9月期比は増減率

※2016年9月期の新契約は、生前給付終身保険(生活保障型)・生活保障特則14付家族収入保険・変額保険(終身型)など。

その他質問項目(2016年9月期)

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入の状況

		2016年9月期	2016年3月期	2015年9月期
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金 繰入・戻入	(億円)	116	347	221

※戻入額についてはマイナスで表示